

---

# ラーメン・ストーリー

asaghi

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

らーめん・すとりー

### 【Nコード】

N6362M

### 【作者名】

asaghi

### 【あらすじ】

会話体小説。

先輩と後輩が出て来るお話。

とある夜。

先輩と後輩。二人だけの、コーヒーと煙草と灰皿と、真剣な顔が二つ。

静かな郊外のアパートの2階の一室にて。

「先輩なら、どうします？」

「お前ね。。。」「

「はい。」「

「いきなり、難しい事を訊くんじゃないよ。」「

「難しいですか？」

「だから、情けない顔をするなと。うーむ。。。」「

「難しいですよね。」「

「解っているんじゃないか。」「

「ラーメン屋で、恋人と別れ話つて、そんなにおかしいですかあ？」

「。。。おかしいよ。すっげ、おかしいよ。」「

「じゃ、何処が良いんですか？」

行き付けの喫茶店って、どうも、その話がやり辛いんですよ。マスターと、二人とも、すっかり、顔見知りになってしまってるし。」

「おお、あの、ブルマンとオムライスの美味しい店だな。よせ。あの銀髪のマスターに、どんな顔をして、注文して良いか、俺なら、わからん。」

「ファミレスも何か、変だし。」

「いや、変なのは、その事じゃなく。。。。ま、いいや。もう、決めたんだな？彼女と別れると。」

「やつぱり、身分違いなんですよ。最近じゃ、もう、会話の端つこに、人間の名前が出て来るだけでもう、心の臓が跳ね上がりそうで。」

「普通、人間は、名前を持っているがな。解った。高級レストランとか。」

「フレンチとか。イタ飯とか。。。焼肉屋でカルビを焼きながらって云うのも、変か？」

「（突っ込み無しで）寿司屋とか。割烹とか。ネットで調べて行くのも、一つの手だな。」

「居酒屋は駄目っすね。出来たら、しらふで切り出したいんです。」

「まあ、その点は、お前の自由だ。どうだ？タウンページに、良い

店が載っていきそうか？」

「別れ話をする、良い店って。。。？！」

「お前がやるって云ったんだろうが？男に一言は無いのじゃないのか？」

「。。。。。。」

「どうした？返事が聞こえんぞ。」

「何処に決めようと、二度と、行けませんね。」

「ふーん。」

「いや、行く気になりませんよ。絶対。」

「だったら？お前が決めたんだろうって。」

「。。。。はい。。。。。」

後輩は、この後、思い切り小さな声で、女性の名前らしきものを虚空に向かって呟く。それを知ってか知らずか。

先輩より、一言。

「何か、喰うか？」

〓 数日後 〓

何気ない風を装って。

先輩より、声を掛けてみる。

「どうだった？高級料理店での別れ話は？」

「先輩。」

「何だ。改まって。色々世話になりましたって言うお礼のつもりか？よせ。水臭い。」

「いや、その、実は、あの。それが、つまり。」

「ああん？」

「まだ、切り出していないんです。」

「何だとお？何が有った？」

「その、つまり、同じ会社に俺と彼女が勤めているのは、ご存知ですよね？」

「おお。で？」

「ああ。するめを丸かじりで。先輩は男らしいなあ。いや、そんな事より。」

先週末、仕事を会社からアパートに持って帰ったら、彼女がですね。」

「ふんふん。」

「インスタント・ラーメンを作ってくれまして。」

「インスタント・ラーメン。」

「ええ。袋入りの。しかも、ライス付きで。」

「ラーメン・ライスだな。美味かったか？」

「はい。それは、もう。野菜たっぷり。茹で卵も載ってですね。二人で食べながら、仕事の話なぞ。」

「ほうほう。楽しかったろうな、それは。」

「だから、あの。すいません。先輩。別れ話はあ、この次と言う事で。。。」「

「勝手にしろい。」

\* The End \*

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6362m/>

---

らーめん・すとりー

2010年10月9日11時16分発行